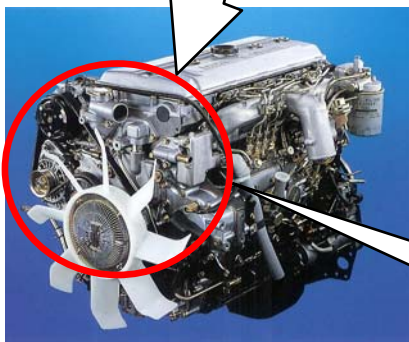


改善箇所説明図



ヘッドアイドルギヤ

① ヘッドアイドルシャフト固定ボルト

ファンシャフトケース

クランクシャフトギヤ

基準不適合発生箇所

② ファンシャフトギヤ

- ①原動機のカムシャフトを駆動するヘッドアイドルギヤを固定するボルトの締付けが不足しているため、当該ギヤにがたが発生するものがある。
そのため、そのまま使用を続けると、ボルトに弛みが発生して、ギヤの噛み合いが不良となり異音が発生し、最悪の場合、当該ボルトが折損してギヤの噛み合いが外れてエンジンが停止し、再始動不能となるおそれがある。
- ②原動機の冷却ファンを駆動するファンシャフトギヤの強度が不足しているため、当該ギヤが低回転時に共振を起こし摩耗するものがある。
そのため、そのまま使用を続けると、ギヤが損傷し、最悪の場合、ギヤの歯が欠損してエンジンが停止し再始動不能となるおそれがある。

改善の内容

- ①全車両、当該アイドルギヤを固定するボルトを対策品と交換し、当該ボルトを新たに設定した締付トルクで取付ける。なお、当該ボルトが緩んでいる場合は、アイドルギヤを新品と交換する。
- ②全車両、ファンシャフトギヤを対策品と交換する。

注：□ は、交換部品を示す。

識別：作業完了車には、「LT-31」の文字が記載された白黄色のシールを下記指定場所に貼付ける。

トラック：助手席リヤドアピラーストライカー付近

バス：アクセルペダル右部壁面（車両銘板下部）